

大スパン木造建築見学会に70人

レビックと
SMB建材

レビック（堺市堺区）とSMB建材（東京都港区）は13、14日の2日間、大阪・和泉中央に完成したナカザワ建販和泉中央新事務所で、大スパン木造建築見学会を開いた。2日間計5回の開催で約70人が参加した。

同建物には、柱や梁などに国産唐松集成材約112・07立方メートルを使用。1階事務室を最大10・5

メートルのスパンで無柱空間とした。設計・監理は徳岡設計、施工はレビックが担当。SMB建材の木質二方向ラーメン構造「サミットHR工法」が採用された。

見学会では、レビックの佐々木博社長とSMB建材の佐藤修司木構造事業本部長があいさつし、木構造に関連する自社の取り組みを紹介。徳岡設

計の藤城義丈副社長が同建物の設計コンセプトなどを説明した。その後、参加者が建物内を見学、柱や梁などに使われた実際の集成材を確かめた。